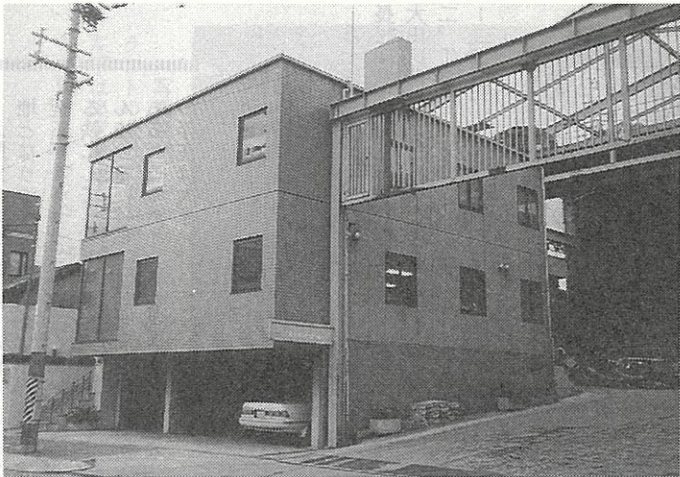
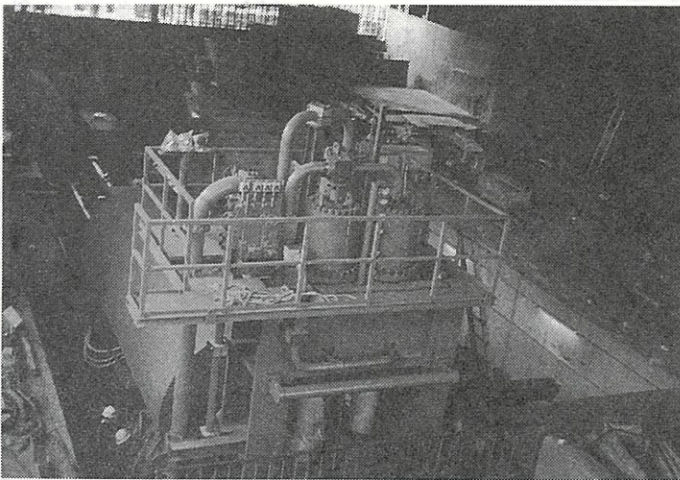


大阪故鉄 本社工場

1,250tギロチンを入替え、2基体制も充実



平林北の本社工場、左建物が事務所



工事中の富士車輛製の1,250tギロチン (12月3日稼動予定)

大のギロチンとして導入された。
ただ本社工場の直接扱量はその後急ピッチにふくらみ、90年前後には、主に建屋解体を中心に平均八〇〇〇トン(パブルがはじけた現在でも六〇〇〇七〇〇〇トン)にのぼり、オーバーフロー



旧二二五〇t機は84年、当時としては大阪府最

今回も富士車輛製の同型機

大阪故鉄株式会社(代表取締役・矢追徹夫氏、従業員25名)はかねての構想どおり本社工場の旧二二五〇tギロチンを撤去し、新鋭二二五〇t機へ入替えた。同社は人も知るとおり関西地区でも屈指の実力・老舗業者。なかでも古くから一貫して追求してきた大型プラントや工場解体物件の引取りには抜群の実績を持ち、また住友電工の直納業者として新鋭機種の多さでは他を寄せつけない。扱量はパブル期のピークが三万五〇〇〇トン。波がひいた現在でも地力を活かしてコンスタントに本社工場と深江工場で三万トン台をキープしている。大型重量物は本社工場で処理しているが、集荷量が処理能力に追いつかず、かねて同業者に材料を回していた。このため2年前の91年には八〇〇tギロチンを増設、同時に二二五〇t機の更新を計画していた(写真は矢追徹夫社長)。

が継続した。この処理能力の改善の必要もあり、またようやく老朽のきざしをみせはじめた大型機の後継工事の備えもあって八〇〇tマウントをバックアップ機として増設。入替のタイミングを狙っていた。

した同型・同切断圧機への更新。その選択理由は在来基礎・設備が利用できることから工期短縮、費用節減が可能。最近のスクラップ需給であれば二二五〇t機で充分対応できる。また在来の基礎へ収納するため外形寸法は変えられないが、その範囲内で横押し、押えブタ能力やフレーム強度アップは可能との判断がなられたからだ。

代納を含め月間2万トン

本社工場の扱ひ品種のほとんどがHS・H1以下の上級ヘビー。H2以下の中・下級品はあつてもせいぜい10%以下。シュレッダー材は皆無。これは同社が古くから肉厚の上物がでるプロジェクト工事や建設・プラント解体を一貫して追ってきた結果である。近年では和歌山のコスモ石油の解撤材を同社が中心となって引取り、最近では大阪ガスの一連の撤去材を手懸けるなど解体プラント扱ひには伝統的な実績をもっている。

工事による空白でお客様に迷惑をかけない、それも理由のひとつだった。

したがってヘビー材の70~80%がこれらの解体関連。上級品種のシェアが高いのは当然といえば当然の話である。
新鋭機のパワーアップが加わった2基体制の処理能力は(残業なし、第2・第3土曜休業、母材や形状にもよるが、月間五〇〇〇トンどころとみられる。これではまだ集荷能力の超過によるオーバーフローの解消はのぞめず、集荷量の相当量は他業者への回さざるを得ない。が、それはそれでいいのだ、というのが同社の方針である。同社は商社と並ぶ直納業者として代納出荷がピーク二万トンから、現在でも二万トン前後におよぶ。業者との関係を強めるためには同社からするギロチン材の供給は格好のバイブ。だから、すべてを自社処理にかかえこむつもりはない、という。
また、同社は新鋭類抜の大手でもある。新鋭を主力とする住友電工・伊丹、臨港製鉄の直納問屋として古くから着実に実績をのびしてきたことが大きい。現に大型の全自動プレス2基をもつ深江工場は開設以来の新鋭専用の拠点工場だ。
最後となったのが同社長である欣爾氏は日本鉄リサイクル工業会副会長(前・関西支部長)。戦前・戦後を通じて業界人としても知られる。

大阪故鉄(株)概略

[沿革]	[主な設備]
1946年3月 矢追商店として大阪市桜川で創業	本社工場 大阪市住之江区平林北1-2-22 TEL 06-681-5761(代) FAX 06-681-5766
1948年10月 住友金属の納入指定業者へ	敷地 3,960㎡ 建屋 3,000㎡
1952年1月 大阪故鉄(株)として法人改組	加工処理設備 1,250tギロチン 1基 800tギロチン 1基 大型油圧プレス 1基
1961年4月 住友電工の納入指定業者へ	クレーン リフマグ付き天井走行 5基
1961年10月 臨港製鉄の納入指定業者へ	台貫 80tコンピューター連動式 1台
1962年3月 津守工場開設。プレス加工へ	深江工場 大阪市東成区深江北2-8-15 TEL 06-981-9433(代) FAX 06-971-4641
1966年5月 深江工場開設。油圧プレス導入	敷地 1,030㎡ 建屋 826㎡
1971年6月 平林に現本社工場を開設。750tギロチン、油圧プレス設置(津守工場閉鎖)	加工処理設備 大型油圧プレス 2基 クレーン リフマグ付天井走行 3基
1984年 本社工場ギロチンを1,250tへ更新	台貫 40tコンピューター連動 1台
1988~90年 事務所・看貫・クレーン・トラック無線など設備近代化工事	桜川倉庫 大阪市桜川2-1092
1991年 本社工場へ800tギロチンを増設	敷地 610㎡ 建屋 430㎡
1993年 1,250tギロチンを更新・新鋭2基体制へ	搬車(常用・備車) トレーラー3台、10t大型12台 他

製鋼原料処理設備 のトップメーカー

主要営業品目
スクラップシャー、フジ・マウントシャー
スクラップペーリングプレス
シュレディングプラント
移動式廃車プレス車



富士車輛株式会社

営業本部(東京) TEL(03)3252-5701
営業本部(大阪) TEL(06)212-1911
営業所 仙台 横浜 名古屋 京都 広島

Metal Recycler

OSAKA KOTETSU

大阪故鉄株式会社

代表取締役 矢追徹夫

本社 〒559 大阪市住之江区平林北1丁目2番22号
TEL (06)681-5761(代表)
FAX (06)681-5766
深江工場 〒537 大阪市東成区深江北2丁目8番15号
TEL (06)981-9433(代表)